



暑寒別岳

希少な高山植物や湿原が広がる
暑寒別連峰の秀峰

暑寒別連峰の主峰、暑寒別岳(1,492m)は、平成2年(1990年)に指定された暑寒別天売焼尻国定公園のシンボルとして四季を通じ、美しい姿を見せています。周辺には群別岳(1,376m)浜益岳(1,258m)雄冬岳(1,198m)南暑寒岳(1,296m)など1,000m級の山々が連なり、暑寒別岳連峰を形成しています。

暑寒別岳と群別岳、南暑寒岳は「暑寒別火山」とも呼ばれているように、地下のマグマの活動で隆起したものが、長い年月をかけて雨や風、川の流れなどによって削られながら、現在の形に変化してきたと考えられています。隆起の中心となっていたのは暑寒別岳の西南2.5km地点付近とされ、ここでは安山岩(マグマが地表近くで冷えて固まった岩石)の溶岩石も確認されています。一説では今から約180万年前、「第四期」の初め頃に誕生した山ではないかと言われています。

暑寒別岳の美しさは山麓から山頂に至るまで、神秘的な原始の姿を残している点にあります。増毛側から望む山麓には原始林が広がり、広大な樹海や高山植物の群落が登山客を魅了してやみません。特に、高山植物は暑寒別岳の固有種であるマシケゲンゲやマシケオトギリをはじめ、チシマギキョウ、エゾシオガマ、チングルマなど百数十種類が群生し、6月中旬から7月下旬にかけて見頃を迎えます。また、山頂からは東に大雪連峰北は日本海という雄大な景観を一望することができ、晴れた日には日本海に浮かぶ利尻富士の姿も見ることができます。

見どころ

暑寒別岳の山開きは例年6月中旬。登山ルートは増毛町側の暑寒と箸別ルートと雨竜町側のルートがあり、雨竜町側から登ると、標高850~900m地点で「北海道の尾瀬」と言われる雨竜沼湿原を通ることができます。

ポイント

暑寒別天売焼尻国定公園は全国で55番目、道内では5番目に指定された日本最北の国定公園。暑寒別ルート登山口の山小屋「暑寒荘」周辺にはチップが敷き詰められた遊歩道が整備された「溪流の森」があり、気軽に自然と触れ合うことができます。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



登山小屋の暑寒荘周辺には、気軽に野鳥の声や溪流のせせらぎを楽しむことができる溪流の森があります。チップ材が敷き詰められた遊歩道は四季折々の表情を見せながら、快適な散策が楽しめます。



暑寒別山の山開きは、毎年6月中旬に行われます。安全祈願祭を実施し、翌日には早朝から記念登山を行います。例年多くの登山客で賑わうイベントです。

■ 基本情報 (R7.3)

【増毛町暑寒野営場】
住 所：増毛郡増毛町暑寒沢830番地
開設期間：6月上旬～10月下旬
駐 車 場：約30台(無料)
キャンプ場：有(オートキャンプ不可、バンガローなし)
施設・設備：水洗トイレほか計3棟、炊事場1カ所、暑寒荘(60名収容、トイレあり)
問い合わせ：増毛町商工観光課観光事業係
TEL 0164-53-3332